

UVインキ

UV 161 シリーズ

接着性に優れ、乾燥性・耐溶剤性にも優れています。PET紙・メタルホイル紙・塩ビ・合成紙・PE・PPフィルム等非吸収紙に多く利用されています。また一般紙への印刷にも利用される、フィルム・紙兼用インキです。

強靱な皮膜を要求される電気製品・事務用品・自動車部品等のラベル(シール印刷)に多く利用されています。

■ 基準色および耐性

品名	耐光性		耐熱性	耐石けん性	耐溶剤性
	濃色	淡色			
UV 161 黄 S	4	3	4	5	5
UV 161 紅 S	4~5*	3*	4	2	4
UV 161 藍 S	8	7	5	5	5
UV 161 墨 S	7~8	7	5	5	5
UV 161 メジウム S	8	—	5	5	5
UV 161 白 S	8	7	5	5	5
UV 161 濃黄 S	5	3	4	5	5
UV 161 金赤 S	4~5	3	4	3	4
UV 161 マゼンタ S*	4*	2*	2	1	2
UV 161 紫 S	7~8	7	5	5	5
UV 161 グリーン S	8	7~8	5	5	5
UV 161 超耐光性 黄 S	6~7	5~6	5	5	5
UV 161 超耐光性 コンク金赤 S	6~7	5~6	5	5	5
UV 161 超耐光性 紅 S	6~7	5~6	5	5	5
UV 161 耐光性 紅 S	5~6	3~4	5	5	5
UV 161 SR 黄 S	8	7	5	5	5
UV 161 SR 朱 S	8	7	5	5	5
UV 161 SR レッド S	8	7	5	5	5
UV 161 SR ローズ S	8	7	5	5	5
UV 161 ハイコンクブラック	7~8	5	5	2	2
UV 161 コンク 白	8	7	5	5	5

評価: 耐光性 8(優) ⇄ 1(劣)、その他: 5(優) ⇄ 1(劣)

☆水(結露を含む)のかかる環境で、マイグレーションを起すことがあります。

* 水に濡れた状態では、耐光性が極端に悪くなります。

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。

<試験方法>

耐光性…印刷物をフェードメーターにて照射試験し、暴露時間と変褪色の程度により強度を8段階に分級。

希釈しない濃色とメジウムで5倍に希釈した淡色を試験する。

耐熱性…印刷物を150℃の熱風循環式乾燥機中で10分間加熱し、変褪色の程度により強度を5段階に分級。

耐石けん性…印刷物を10%の石けんゲルに20～25℃で1時間付着し、変褪色の程度および石けんゲルへのブリードの程度により強度を5段階に分級。

耐溶剤性…印刷物をトルエンとアセトンの1:1混合液に20～25℃で24時間浸し、変褪色および混合液へのブリードの程度により強度を5段階に分級。

■ 使用上の注意

- ▶ 非吸収原反へ印刷した印刷物が屋外もしくは水(結露を含む)のかかる環境に置かれた場合、接着力が低下して爪などによって簡単に剥がれることがありますので、ご確認願います。
- ▶ “UV161ハイコンクブラック”は補色に耐性の弱いアルカリブルートナー顔料を使用しています。PP貼りなどの印刷後加工を行なう場合やレトリート加工等の印刷物製品の必要物性については予め予備試験をおこなって適性をご確認ください。
- ▶ “UV161コンク白”の密着性能は他の“UV161”と比較して劣る傾向にあります。別途、密着性をご確認願います。
- ▶ インキ盛り過ぎやランプの劣化により、硬化不良・密着不良が発生する可能性がありますので、ご注意ください。
- ▶ 助剤・洗浄剤・版材については、UVインキ用のものをご使用下さい。
- ▶ 火気に注意し、作業場は十分に換気し、紫外線や直射日光を避けて取り扱って下さい。吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れない様に適切な保護具を着用下さい。衣類等に付着した場合は、直ちにその汚れを落とし着替えて、汚れ部分が長時間接触することを避けてください。取り扱い後は、手洗いとうがいを十分に行ってください。
- ▶ 目に入った場合、直ちに多量の水で15分以上洗い流し、眼科医の手当を受けてください。皮膚に付着した際は、汚染衣服や靴等の汚れを落とした後、付着部または接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流してください。もし、皮膚に炎症やかゆみを生じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
- ▶ 本製品を御使用の際には、事前に安全データシート(SDS)を良くお読みください。



印刷インキ工業会

2026/3/6 No.W-5

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。